



大阪錦画新話

大阪北組五區岩井町二丁目本幡平吉の母かたとして顔ぶ霜の老の
くも寄ろ年あみか強欲の弥陀の糸子ふ合を手もたぐふ
道ひが掴かた死深切あふ人の思えし世貫ふ古拙の熊鷹
澤く養育代が運のつき命を取て又をらひなびく
皇ろ子殺し一完悪終ふ我身あむら
地獄の可責いあらるるこあら
世業の疲脱を厳しく捕縛
せられ一あよの戒一あとい人々を
憎すぬらあはあうそなり

文花堂誌

大阪一代
錦画の聖

阿波文板

